

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



しらたか 広報

11.10
NOV 2006
NO.956

山口地区の取り組みについて②
白鷹町生涯学習振興計画を策定します⑥
白鷹町文化交流センター基本設計の
中間報告⑦
町県民税・所得税が変わります⑧
「白鷹町国民保護計画(素案)」に
ご意見をお寄せください⑨
国民年金からのお知らせ⑫
長岡市栃尾地域特別交流事業⑭
白鷹町ふるさと交流大使と語る会⑮



これがボクのフルパワー！ — 第30回白鷹町農業祭・チビッコカ自慢俵持ち上げ競争
10月29日、JA山形おきたま白鷹支店周辺で、白鷹町農業祭が行われました。白鷹地産地消の日とし、実行委員会が企画しました。町内産直グループのとれたて野菜や果物がとこ狭しと並べられ、これからが旬の新そばや新米の杵つきもちなども登場。俵持ち上げでは、小学生たちが30kgの米俵に挑みました。この子どもたちを育てる自然の恵みに感謝です。

安心して住みやすい地域づくりのために

「地域づくり計画」の策定に取り組んでいます

山口地区の取り組みについて



白鷹町では、くらしやすく安心して住むことができる地域づくりを進めるため、地域の皆さんが参画してつくる「地域づくり計画」の策定事業に対し、今年度から支援しています。

この事業は、地域が抱えているさまざまな課題等を地域の皆さんが自らの手で解決していくため、自らの地域の将来のあるべき姿の計画をつくり、行動していくという場合において、その計画づくりに係る経費の一部を補助するとともに、計画ができた後の実際の行動についても必要な支援を行うものです。

今年度は、蚕桑の山口地区がこの事業に取り組んでいます。その取り組みの内容について紹介します。

山口の里づくり委員会

山口の里づくり委員会は、山口の里に生活している住民が、住んでいて良かったと実感できる地域づくり、他から移り住みたくなるような里づくりを実現することを目的としています。そのために「山口の里」の将来を展望した総合計画をつくり、みんなで実践し、山口区民の生活、福祉

環境の充実を図っていくことを目標としています。

自分のことは自分で

山口の里づくり委員会が立ち上がるきっかけとなったのは、「自分たちのくらす地域を自分たちの手でつくっていきたい」という思いから、数人で話し合いを持ったことがきっかけではじまりました。はじめは、地区内にどのく

らしい賛同者がいて、どのくらい協力してもらえるのか、不安に思っていました。実際には「今、何かやらなければいけない、自分も山口のために何かやりたい」とか「このままでいるより何か行動を起こさなくては」という声があり、多くの皆さんから賛同を得ることができました。

準備委員会の設立

準備委員会では、「委員の募集方法」や「最終的にどのような委員会にしていきたいのか」ということが話し合われました。それに伴い、委員会の規約や山口独自の約束事（ローカルルール）の素案などが話し合われました。

委員会の設立

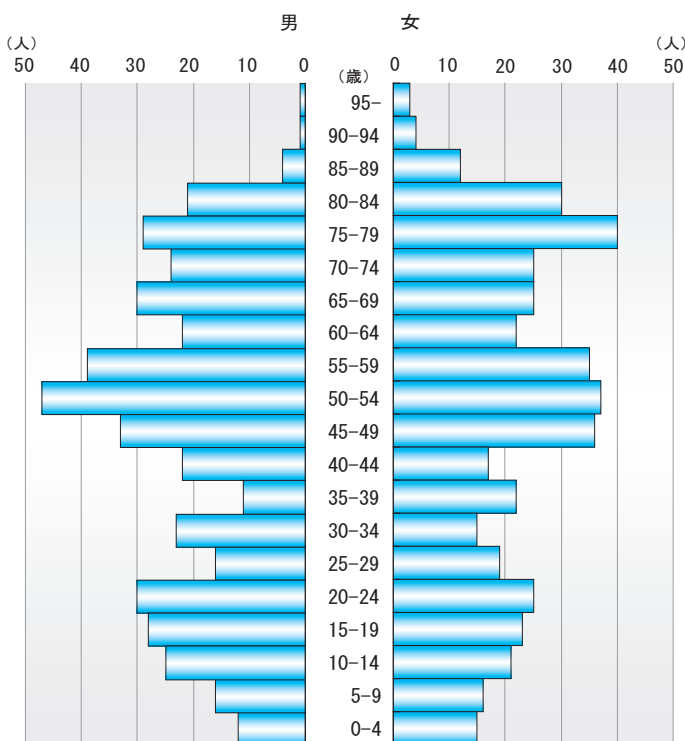
その後、委員会の設立となります。あらかじめ委員の依頼や募集を行い、またその際には、あらかじめ希望する専門部を調査しながら委員会を設立しました。なお、最初の集まりでは、山口地区の現状（少子高齢化、集落営農など）を再確認しました。

山口の里づくり委員会

ローカルルール（抜粋）

- 一、会議が面白くないときは、はっきり「おもちゃべなの」という。
- 一、誰かが発言したとき、「ほだたて」「そんげなごと」などは言わない。
- 一、忙しくても「まき死に以外」は、会議に出席する。
- 一、事務局員は集ったみんなに、参加して「おもひえがった」「今度の次、またくる」と思ってもらふ義務を負う。
- 一、みんなで呑んだり食ったりするときは、山口の店から買う。
- 一、どじょうの衆、若のものの発言が「は、かへせえ」と思ってもじっと我慢する。

山口地区の人口ピラミッド



【資料】

山口地区の少子高齢化の現状

- 老人世帯
 - ☆ 65歳以上の単身世帯 16世帯
 - ☆ 老人夫婦世帯 (男65歳以上、女60歳以上) 13世帯
 - ☆ 合計29世帯
 - ※ 山口地区内世帯の19%
-
- 山口の出生数
 - 平成12年度 5人
 - 平成13年度 8人
 - 平成14年度 4人
 - 平成15年度 6人
 - 平成16年度 6人
 - 平成17年度 3人

6つの専門部

委員会は、全体を総括する会議となりますが、それぞれの分野において機動力を高めるため、6つの専門部を設けています。

専門部は、①農業部、②生活・福祉部、③交流部、④歴史・文化部、⑤環境部、⑥活性部に分かれ、各部毎に山口の現状と課題を把握し、その対策を整理していきます。そして、だが、いつ、どのような方法で取り組んでいくべきかを検討しています。

① 農業部

山口の「集落営農」をテーマに、現在の地域の農業状況



を把握するため、土地の利用状況の調査を行っています。

今後は耕作者の年齢なども考慮して、土地利用のあり方や、持続できる営農などを話し合い、山口が向かうべき姿をまとめていきます。

② 生活・福祉部

12人で構成しています。老人福祉、子育て、防犯など生活に密着した課題を主に検討していくことをねらいとしています。

③ 交流部

10人で構成しています。地域住民の交流や他地域の住民との交流などコミュニケーションの促進を図ることをテーマ

とした課題を検討していくことをねらいとしています。

④ 歴史・文化部

8人で構成しています。地区内にある歴史文化に触れ、資料を作成したり、後世に語り継ぎ、「山口人」としてのイデオロギー（思想）の醸成をねらいとしています。

⑤ 環境部

10人で構成しています。山口の緑豊かな美しい自然環境を後世に残せるよう、身近なゴミ問題からエコエネルギーまで、さまざまな課題を検討していくことをねらいとしています。

⑥ 活性部

16人で構成しています。活気ある地区をつくるため、事業主のかたを中心に課題を整理し、解決に向けての対策を検討していくことをねらいとしています。

この成果を、部門ごとに整理し、山口全体の総合的な計画としてつなぎ込みます。

メンバーとしてがんばっています



生活・福祉部
中川慶子さん

山口に住んで10年。まだまだわからないことばかりですが、この会の一員にさせていただきました。区内を歩いて回る現地点検や他町内のかたとの交流を通して、自分の住んでいる町の良さ、そして課題を見つめ直しています。



住民参加のワークショップ

さて、山口地区は900人弱の人口の集落ですが、900人もいれば考え方もいろいろです。その多種多様な考えを持つ住民が参加して、山口全体のひとつの計画をまとめていくためには、どうしたらいいのでしょうか。当初、事務局でも不安だった点です。

これを、見事解決する手法が住民参加のワークショップでした。他地区での活用事例などを重ね、ワークショップを開催しながら成果をまとめていきます。

委員のための研修会

各分野で地域おこしなどの研修会が開催されています。

その機会を活用し、できる限り参加し、情報交換などを行っていきます。

10月28日には、歴史・文化部が主体となり、寺に奉納されていた絵馬についての研究会を開催し、当時の歴史背景や生活状況についての勉強会を行いました。

また、11月12日には、山口の里づくり委員会が主催して岩手県遠野市（旧宮守村）へ視察研修に行く予定です。その他の部でもテーマごと

の研修会や研究会を催していく予定です。

遠野市上宮守地区との交流

視察研修を予定している遠野市上宮守地区との交流は、平成9年ごろから始まりました。

アジュガ（※）栽培をきっかけとし、毎年課題を設定しながら交互に訪問、受け入れを行い、互いの郷土文化や日常の生活の知恵など、細部にわたっての情報交換・交流を行ってきています。一集落一農場を実現した宮守地区との交流は、山口の活性化にも大きく役立っています。

先日は、メンバー数人が集まり、上宮守地区で開催される「かかし祭り」に出展するためのかかしづくりを行いました。

※アジュガ シソ科の常緑多年草でグランドカバー植物

今後の予定

委員会や各専門部から提案された将来の山口ビジョンをまとめ、楽しく活力のある地域をつくっていかねばと思っています。

メンバーとしてがんばってます

環境部

金子孝吉さん



国の方針である『集落営農』など、取り組まなければならない時期に、山口全体（6町内）をいろいろな視野で幅広く見直し、今後を考える良い機会になったと思います。

今後区民の皆さんにいかに周知し、理解を得て、協力していただくか。また委員会組織と行政組織とをどう連携させていくかなど取り組まなければならない課題も多くあります。

人まねでも、人任せでもできない地道で長い活動に、わたしも一委員として“活気ある山口の里づくり”に本音の意見を述べていきたいと思っています。

支援事業に関するお問い合わせ

この事業は「白鷹町安心して住みやすい地域創造事業」として、平成18年度から創設しており、今年度以降も継続していく予定です。

事業内容などのお問い合わせは、役場政策改革課 政策企画係（☎8516123）までお願いします。



白鷹町生涯学習振興計画を

策定します

皆さんの意見を

お寄せください

平成14年度に策定の生涯学習に対する町の基本的な方向を示した白鷹町生涯学習振興計画が今年度で終了することから、今後5年間を目標にした新たな計画を今年12月を目途に策定します。

今回、計画案をとりまとめましたので、町民の皆さまからご意見をいただくパブリックコメントを行います。パブリックコメントとは、町政の基本的な計画などについて、計画案の趣旨、内容などを町民の皆さまに広く公表し、ご意見をいただく手続きのことです。意見の提出は、11月24日(金)を締め切りとさせていただきます。

計画の概要は以下のとおりですが、全文は中央公民館、各地区公民館、町ホームページでご覧いただけます。

白鷹町生涯学習振興計画(案)(概要版)

○計画策定の趣旨

現在の計画が平成18年度で終了するものの、今後も現在の社会のニーズや課題に対応する必要がある。また、生涯学習を今後も一層推進し、地域社会の連帯感を醸成し、地域社会の課題解決の一つのきっかけとなるような生涯学習社会を構築するために、本計画を策定する。

○計画の期間

平成19年度～平成23年度までの5年間

○生涯学習の基本目標

学びが育てる豊かな心、人が育てる豊かなまちを創ろう

自己を高め、自己実現を目指そうとする日常の取り組みは、活力ある地域・社会を形成し、町全体の社会力や文化力を醸成する。

今求められている「人間愛」「親子愛」「郷土愛」や、他と関わろうとする意欲、社会の中で役割を担うこと、つまり社会力がまちづくりのキーワードである。また、芸術・文化・スポーツ活動により育まれた豊かな感性や心の豊かさは、地域社会の課題解決や地域を再生、創造する原動力となる。つまり文化力の向上もまた、まちづくりのキーワードである。

今後派生する諸課題に対し、自ら学び考え問題を解決する力を持つための学びと、長年培われてきた生活文化や芸術文化に親しむこと、スポーツを通し健康な心と身体をつくることにより、心豊かな安らぎと活力ある町を次世代に伝えていかなければならない。その実現を目指し生涯学習の充実を図る。

○基本計画

1. 生涯にわたる学びの推進

- ・町民全体の社会力の向上
- ・学びにおける「公共」「協働」の視点の重視
- ・成長段階ごとの具体策の強化
- ・学習ニーズを生かした多様な学習の展開
- ・中央公民館活動の推進
- ・地区公民館活動の推進
- ・地区公民館分館活動の推進

2. 芸術・文化の振興

- ・町民全体の文化力向上
- ・文化ボランティアの育成
- ・文化団体の育成
- ・文化財保護・調査活動の推進
- ・歴史資料館の開設
- ・図書館の充実と利用促進

3. 生涯スポーツの振興

- ・健康・生活スポーツの環境整備
- ・総合型地域スポーツクラブの設立
- ・競技スポーツの充実発展
- ・指導者の資質向上と育成
- ・スポーツ施設の整備と充実
- ・スポーツ行政サービスの提供と充実
- ・白鷹町スポーツ振興基金の有効活用

○社会教育施設の整備

- ・中央公民館改修事業
- ・町民プール整備事業

○推進体制～計画を推進するにあたって～

- ・実施計画の策定
- ・社会教育委員会議の充実
- ・専門的職員の養成
- ・配置と職員研修の充実
- ・社会教育機関の充実
- ・計画の評価

白鷹町文化交流センター基本設計の中間報告

白鷹町文化交流センターの基本設計については、本施設の基本計画書に基づき11月末を目途に策定中です。このたび、本交流センターの施設配置計画の考え方と平面計画のイメージについてお知らせします。

◆施設配置計画の考え方

施設の配置計画の考え方は、「文化・交流・人づくり」の中核的な拠点施設として、誰もが立ち寄りたくなる町民に開かれた空間構成を目指しています。賑わいが街行く人を誘い込むよう、屋外交流広場は通りに開かれ、施設本体は敷地中央部の小高い丘に配置し、また内部の活動が見える配置計画としています。駐車場は、利用者の平易なアクセスを考慮し、また機械除雪の円滑化と堆雪スペースを確保します。

◆各ゾーンの空間イメージ

○多目的交流ゾーン

多目的交流ゾーンは、観て・聴いて・歌い・語らい・音による感性を高めあう空間として、室内形状は室内楽に合わせた音響効果の優れたホールとします。

○文化伝承発信・ロビーゾーン

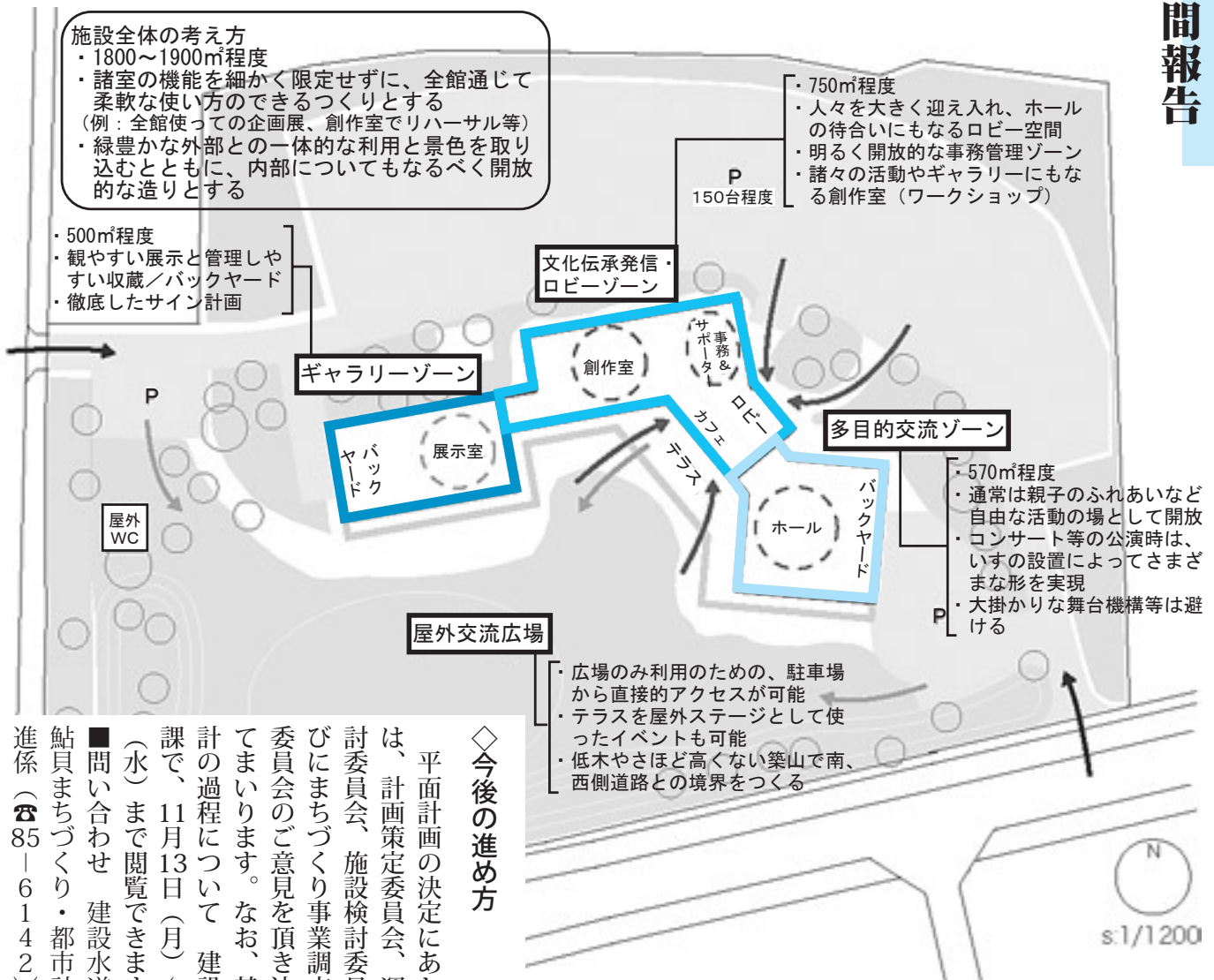
先人達が築き上げた文化を伝承し、世代を超えた交流による文化情報発信空間と、出会いと感動を予感させる空間として、多様な活用形態に対応できる機能性と柔軟性ある創出空間とします。

○ギャラリーゾーン

観ること、感じることによる美への感性空間として、絵画の常設展示と町内外における創作活動の発表の空間とします。

◆屋外交流広場のイメージ

屋内と屋外の一体的活用ができ、人々が集い・ふれあひ・憩える広場とします。



平成19年から

あなたの町民税・所得税が変わります

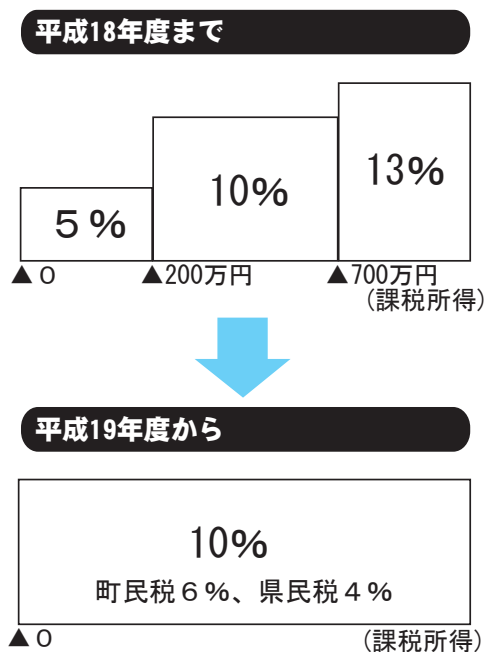
現在、市や町などは、国に納められた税金の中から、補助としてお金を受けています。そのお金も加えて、まちづくりを行っています。そのしくみは必ずしも自ら考え、自ら行えるものではありません。住民の皆さんにとって必要なことを自らの責任で行えるよう国、県、町と一緒に税金の流れを変えることになりました。平成19年度町民税と平成19年分所得税から（会社にお勤めで毎月の給料から納めているかたは平成19年1月から、公的年金等から納めているかたは平成19年2月から）変わります。

もっと身近に もっと豊かに

一人ひとりのよりよい暮らしのために

町民税所得割の税率が10%に統一されます

町民税所得割の税率は、これまで課税所得（所得から差し引かれる金額を差し引いた金額）により3段階になっていました。これが、課税所得の一律10%に変わります。



例えば、課税所得が300万円の場合

変更前

$200\text{万円} \times 5\% + (300\text{万円} - 200\text{万円}) \times 10\% = 20\text{万円}$

変更後

$300\text{万円} \times 10\% = 30\text{万円}$

※実際の税額は、このほかに人的控除の差により減額になります。

Q 税負担は増える？減る？

A ご安心ください。町民税が増えても、所得税が減るため、納税者の負担は変わりません。

町民税所得割が変わるのに伴い、国が集める所得税の税率も見直されます。町民税は、最低税率を5%から10%に引き上げ、最高税率を13%から10%に引き下げます。しかし、所得税は、逆に最低税率を10%から5%に引き下げ、最高税率を37%から40%

に引き上げます。また、所得から差し引かれる金額の中の人的控除の差による減額も行います。

これらにより、変更前と後の「町民税+所得税」の納税者負担は、ほぼ変わりません。左ページの表をご参照ください。

問い合わせ
町民税務課
町税係
☎85-6132

「白鷹町国民保護計画（素案）」にご意見をお寄せください

白鷹町では、平成18年度において、国民保護法に基づき、武力攻撃事態等における避難、被災者救援及び被害最小化といった国民保護措置の実施方法や関係機関との連携に関する事項などについて定める「白鷹町国民保護計画」を作成することとしています。

現在、当計画の検討を進めているところですが、中間のとりまとめとして「白鷹町国民保護計画（素案）」を作成しましたので、この計画素案に関する町民の皆さんのご意見をお寄せください。つきましては、役場総務課、中央公民館、各地区公民館に備えつけているの計画（素案）をご覧ください。なお、町ホームページにも掲載しています。

お寄せいただいたご意見は、これに対する町の考え方とともに整理したうえで公表することとしています。なお、個々のご意見には直接回答いたしませんので、あらかじめご了承ください。

● 閲覧期間

11月13日(月)～22日(水)

● 閲覧時間

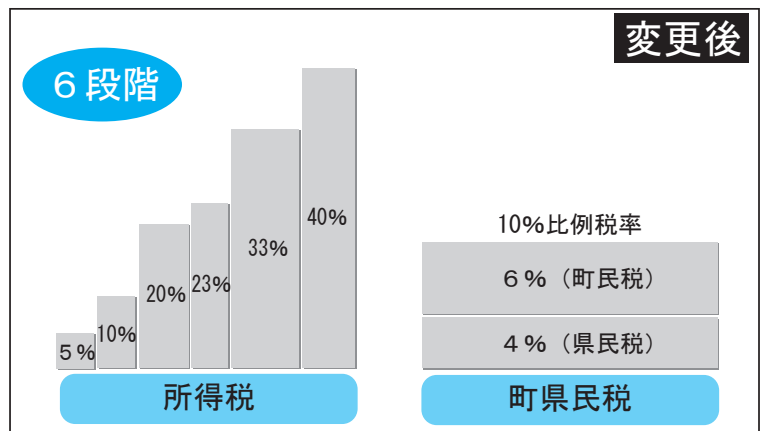
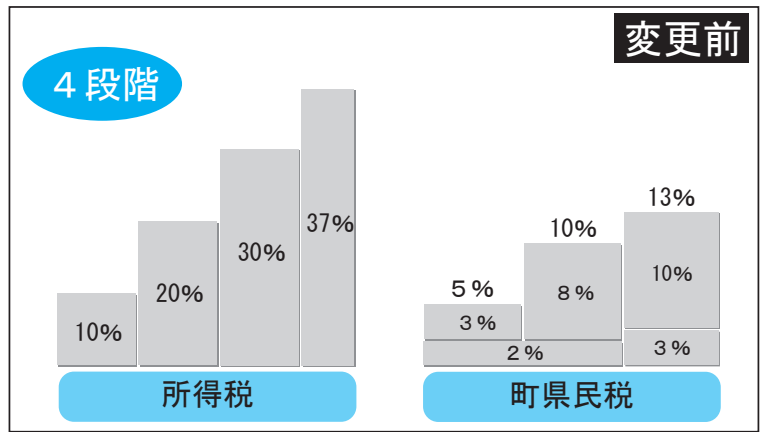
午前9時～午後4時30分

*中央公民館は午後9時30分までとなります。

● 意見の提出方法

- 直接、郵送、ファクスまたは電子メールにてお願いします（閲覧期間最終日必着）。
- ご意見をいただく様式は任意のものとなりますが、住所、氏名、電話番号をお書きください（ご意見の内容以外は公表しません）。

お問い合わせ・ご意見は
役場総務課 生活安全係まで
☎85-6122 / FAX85-2128
E-mail: soumu@so.town.shirataka.yamagata.jp



(例) 独身者の場合

(例) 夫婦+子ども2人の場合

変更前

単位：円

給与収入	所得税	町県民税	合計	所得税	町県民税	合計
300万円	124,000	64,500	188,500	0	9,000	9,000
500万円	258,000	163,000	421,000	119,000	76,000	195,000
700万円	474,000	307,000	781,000	263,000	196,000	459,000
1,000万円	966,000	553,000	1,519,000	688,000	442,000	1,130,000

変更後

単位：円

給与収入	所得税	町県民税	合計	所得税	町県民税	合計
300万円	62,000	126,500	188,500	0	9,000	9,000
500万円	160,500	260,500	421,000	59,500	135,500	195,000
700万円	376,500	404,500	781,000	165,500	293,500	459,000
1,000万円	868,500	650,500	1,519,000	590,500	539,500	1,130,000

変更前と後で個々の納税者の負担合計額は変わりません

- ※夫婦+子ども2人の場合、子どものうち1人が特定扶養親族としています。
- ※一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。
- ※上記は、変更前と後の負担変動を示すものです。このほか、平成19年分所得税、平成19年度町県民税から定率減税が廃止されるなどの影響があることにご留意ください。

省エネ啓発&長井線利用拡大イベント

100万人のキャンドルナイト IN しらたか

～でんきを消して、スローな夜を。～

蚕桑駅がろうそくでライトアップ!

フラワー長井線を幻想的な灯りたちがお出迎えです!



売店もあります

いつ 11月18日 (土)

午後6時16分～8時35分

どこで 蚕桑駅 (雨天時は東高玉公民館)

主催 100万人のキャンドルナイト
IN しらたか実行委員会

※会場周辺に駐車場はございませんので、お越しの際はフラワー長井線をご利用ください。

☆フラワー長井線ご利用の際は、蚕桑駅までの往復運賃に雪舟町(そりまち)汁とおにぎりがついて500円とお得な「キャンドルチケット」をご利用ください。

※前売り券のお求めは、荒砥駅及び長井駅、町民税務課まで

【問い合わせ】

町民税務課くらし・環境推進係 (☎85-6131)

プログラム

PM6:16 フラワー長井線下り着 (長井方面より)

6:36 フラワー長井線上り着 (荒砥方面より)

6:45 オープニングセレモニー

7:00 「駅前ライブ」 in 雪舟町公民館

①唄 京都サンライズ

…鮎貝在住のグループ。ギターとウクレレ、アフリカンな打楽器での曲。

②ピアノ 長谷部真弓さん・後藤美里さん

…地元東高玉在住の長谷部さんと鮎貝在住の後藤さんのピアノユニット。
美しい音色を…

③唄 フェイマスグlaus

…山形市を拠点に活動しているグループ。
メンバーの“タダシ”は白鷹出身。

7:52 フラワー長井線上り発 (長井方面へ)

8:35 フラワー長井線下り発 (荒砥方面へ) 終了

◆工事現場付近図



問い合わせ
置賜総合支庁西置賜道路計画課
(☎88-5111内線335)

山形県からのお知らせ

国道287号の立体交差工事に伴う

町道荒砥駅本宿線の通行規制について

国道287号と町道荒砥駅本宿線の立体交差に向けての新橋「八乙女橋」工事に伴い、12月上旬より橋桁の架設工事を予定しているため、通行規制を行います。

桁架設時は町道上空での工事となり町道の通行は危険であるため「全面通行止め」を行い、桁架設後は橋桁と現町道の空間が狭くなるため「通行車両の高さ制限」を行います。通行規制の時期・制限等については、工事現場周辺に設置する注意看板に従ってください。桁架設後の「通行車両の高さ制限」については、立体交差完成後に行う町道の道路工事が終了する平成19年冬ころまで、規制を行う予定です。その間は、現町道北側の「県道荒砥停車場線」の迂回をお願いします。

また、現在通行している仮設道路の交差点では、大型車の交差点右左折状況に合わせて停止線位置を交差点から離して設置していますので、これからの冬期間は、十分に前方注意のうえ通行ください。

大変ご不便をお掛けすることになりますが、ご協力・ご理解くださいますようお願いいたします。

国民年金

からのお知らせ

■年末調整で、ご自身やご家族の国民年金保険料を申告するかたへ

平成17年より、国民年金保険料を納付したことを証明する書類の添付等が義務付けられています。

国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、平成18年に納付した国民年金保険料の控除証明書が必要です。この証明書は11月上旬に送付されます（平成18年10月3日から12月31日までの間に、その年初めて国民年金保険料を納めたかたについては、2月上旬に送付されます）。

下図の①納付済または③合計額のいずれかの金額を、給与所得者の保険料控除申告書の社会保険料控除欄に記入し、証明書を添付してください。

【社会保険料（国民年金保険料）控除証明書】

親展 992-0800 山形県西置賜郡白鷹町大字〇〇 白鷹 太郎 様 お問い合わせ先等	社会保険料（国民年金保険料）控除証明書	
	証明日 社会保険庁総務部経理課長 印	納付対象月欄 ※「済」または「見」で表示します。
	① 納付済	
	② 見込額	
	③ 合計額	

この部分は添付する必要はありません。

扶養親族等申告書の提出をお忘れなく！

老齢や退職を事由とする年金は所得税の対象となります。この所得税は源泉徴収になっているため、年金を受けているかたは社会保険庁に「扶養親族等申告書」を提出していただく必要があります。

扶養親族等申告書の用紙（ハガキ形式）は10月下旬に送付されています。用紙（ハガキ）が送られてきたかたは、忘れずに返送してください。

※扶養親族申告書を提出しないと諸控除が受けられず、源泉徴収額が大きくなります。

- ◇提出が不要な（申告書の用紙が送付されない）かた
- ・遺族年金や障害年塗を受けているかた
 - ・その年に支払われる年金額が158万円（65歳未満は108万円）に満たないかた

■障害基礎年金について

障害基礎年金に該当する要件とは

- ・国民年金の被保険者期間中に初診日（初めて医者にかかった日）のある傷病（病気・けが）で障害の状態にあること。また被保険者であった人については、初診日に60歳以上65歳未満で日本国内に住んでいれば受けられます（60歳以上のかたは老齢基礎年金を受けていないかたのみ）。
- ・障害認定日（※）に、1級または2級の障害に該当していること

・一定の保険料の納付要件を満たしていること

※20歳前の病気・けがで障害になった場合も、障害基礎年金が支給されます。

※障害認定日 障害基礎年金をうけられる障害の状態にあるかどうかの認定日です。原則として、障害の原因となつたけがや病気の「初診日」から1年6カ月を経過した日に障害の状態にあるかどうか。

身体障害者手帳と障害等級は必ずしも一致しているわけではありません

現在、国民年金期間中にもかかわらず、厚生年金期間中に初診日がある場合は1級から3級までの障害に該当するかたは障害厚生年金に該当します。また、障害4級のかたでも、障害厚生年金の3級として認定される場合もあります。町民税務課戸籍年金係、または米沢社会保険事務所にご相談ください。

年金相談日のお知らせ

県内の社会保険事務所では、11月11日（土）、12日（日）の両日（午前9時30分～午後4時）、年金相談を開設します。平日の日中に相談できないかたは、ぜひご利用ください。

入ってよかった



公的年金に加入して保険料をきちんと納めていれば、人生の万一のときも保障があります。若いうちは「障害年金」、結婚したら「遺族年金」、老後には「老齢年金」。年金は生涯を通してみんなの安心をずっと守ってくれる大切なものなんです。

年金を受給されている皆さまへ

12月が誕生月のかたから原則的に現況届が廃止になります。

受給者の皆さまの現況届は、住民基本台帳ネットワークシステムにより行うことになりました。

これにより、12月生まれのかたより順次、現況届の提出が原則不要となります。ただし、一部のかたについては今後も現況届が必要となる場合があります。提出が必要なかたは、これまでどおり現況届が送付されます。

知ってトクする

国民年金

国民年金基金

自営業者などの国民年金第1号被保険者のかたがゆとりのある老後を過ごすことができるように基礎年金に上乘せして積み立てできます（ただし、保険料が免除されているかたや、学生納付特例を受けているかた、付加保険料を納付しているかた、農業者年金に加入しているかたは加入できません）。

平成18年『移動年金相談日』

〈相談日〉

11月22日(水)、12月27日(水)、1月31日(水)
2月28日(水)、3月28日(水)

- 受付時間 午前9時30分～11時30分
午後1時～1時30分
- 開始時刻 午前10時～、午後1時～
- 会場 中央公民館第1・2研修室(2階)
※会場は都合により館内別室になる場合があります。ロビーの案内板をご確認ください。
- 内容 年金のことならなんでも
- 主催 米沢社会保険事務所
(☎0238-22-4220)

ご注意

社会保険事務所や国民年金基金の職員等を装い、電話、ハガキ、訪問などで金銭をだまし取ろうとしたり、ご家族の勤務先の名称、電話番号を聞き出すなど、個人情報収集しようとする事件が起きています。

社会保険事務所や国民年金基金では、指定口座に現金の振込を依頼したり、社会保険の手続きのための手数料と称して現金を徴収することはありません。また、電話で個人情報を聞き出すこともありません。

不審に思われる訪問者や電話等があった場合は、その場で対応せずに、お近くの社会保険事務所などにお問い合わせください。

国民年金のお問い合わせ 町民税務課 戸籍年金係(☎85-6129)

長岡市栃尾地域特別交流事業

10月28日、役場敷地内で、長岡市栃尾地域特別交流事業が行われました。これは、平成16年の10月23日に発生した新潟県中越地震において甚大な損害を被った姉妹都市・新潟県長岡市栃尾地域（旧栃尾市）が、白鷹町内の皆さんから受けた復興支援へ感謝し、また災害の恐ろしさを伝えていくという目的で行われました。栃尾地域からは、馬場長岡市特別参与（元栃尾市長）を始めとするたくさんの方々がお越しになり、感謝の意を込めた栃尾名物「巨大あぶらげ」の実演、揚げたてジャンボあぶらげの試食、栃尾観光物産展が行われました。

一方、中央公民館では、防災フォーラムが行われました。稲田栃尾支所長からは「地震で得た温情」と題し、地震災害の悲惨な状況やそれから立ち直ろうとする復興活動の様子などをご説明いただきました。また、県の総合防災課から長井盆地西縁断層帯で地震が起こった場合の被害想定報告も行われました。



被害状況などを写真で説明報告。あらためて悲惨さを知りました。



ジャンボあぶらげ。「へー、こうやって揚げるのかあ。」



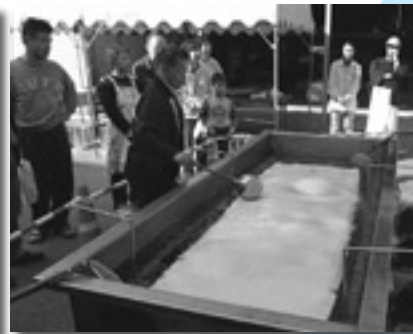
めずらしい栃尾の食べ物がいっぱいでした。



地震の被害や救援の様子などの写真パネルも展示されました。



橋本町長の「あぶらげ入刀」。表面に「ありがとう」の文字が。



巨大あぶらげ。220cm×70cmの大きさで、揚がるまでは1時間。



日赤奉仕団の応急給食訓練

10月22日、東根小学校において、白鷹町総合防災訓練が行われました。これは、不意の災害に備え、住民自らの訓練により防災意識を高めていく目的で、毎年行われています。災害対策本部の設置から、救助訓練、炊き出し訓練、火災防ぎょ訓練など、地元の皆さんと小学生、消防団、町関係者が一丸となって真剣に取り組みました。

防災ヘリ「もがみ」の救助訓練では、小学校の上空を舞台に、本番さながらの救助活動を披露。スケールが大きくも繊細な動きに、参加した皆さんは驚き、頼もしさを感じながら見学しました。



小学生も真剣に避難訓練



地域の皆さんの消火訓練



商工会建木部会の道路障害除去訓練

平成18年度白鷹町総合防災訓練

第2回「白鷹町ふるさと交流大使と語る会」

～いただいたご意見より～

9月30日、第2回「白鷹町ふるさと交流大使と語る会」がパレス松風において開催されました。

- ◇ふるさと交流大使出席者
- 青木邦明さん（蚕桑出身）
 - 安部俊彦さん（十王出身）
 - 伊藤淳子さん（東京都）
 - 井上良弘さん（荒砥出身）
 - 小口英吉さん（鮎貝出身）
 - 塚原光英さん（荒砥出身）
 - 田勢康弘さん（蚕桑出身）
 - 布川文雄さん（鮎貝出身）

白鷹町の概況説明の後、大使と町、議会、商工会、アルカディア財団、観光協会、JAの各代表者とがまちづくりの諸課題について懇談し、広範な視点から意見や提言をいただきました。その一部をご紹介します。

☆19年度から休校となる中山小学校の跡地利用について

○景観に恵まれた中山小学校を自然に親しむ体験学習の場として活用。

○人材育成の観点から若者の学びの拠点に。

○学習環境としては大変によいので、全く無くすのではなく年数回開校して活用。

☆21年度にオープン予定の「文化交流センター」について

○町内は当然、町外からも利用してもらええる施設に。

○白鷹出身の梅津五郎画伯の作品を目玉として展示。

○町外からの移住促進のため、白鷹の魅力を実感してもらう滞在ツアーなど行う。

○四季の郷などの移住に関しては女性の意見が非常に大切。女性を入れて話し合う。

☆都市との交流促進の考え方について

○観光施設は分散より一つのエリアに集中してあるほうが来訪者にとっては便利。

○まちづくりを進めるうえで、下心が見えるやり方は失敗する。結果として利益がある状態をつくる。

○まちの魅力は、整備されたものより、もともとあるものの方に魅力がある。

○隠れた名産品として、漬け物が印象に残る。PRを強化していくべき。

○白鷹は素晴らしいイベントを数多く行っているが、伝わって来ない。町情報の窓口を一本化して機能強化。

○白鷹の優れた発酵文化をPRするため、全国の手づくり発酵食品シンポジウムを開いてはどうか。

☆策定中の観光交流推進計画について

○計画は実践する人をどう導いていくのかが大切。

○桜・紅花・鮎まつりなど実績とともに知名度は確実に上がっている。

○白鷹町は一言で言っても何の町か、統一しておくべき。

○紅花は一部の地区ではなく、全体で関わる取り組みが必要。また、観光施設に一年中飾ることや健康食としての開発などこだわりが大切。

○町民全員でもてなしの心で接することが大切。

○白鷹には資源がたくさんあるが、瑞龍院の書物、最上川、鉄橋、高玉芝居など、素材が充分活用されていない。

○観光を進めるうえで、万人受けするものは絶対にうまく行かない。

○ホームページ自体は受身の情報であり、白鷹町を知りたい人には有効だが「白鷹町ってこんな町だ。」と発信するものがない。



いただいたご意見やご提言は、それぞれの分野で活かすため、全庁に配布しました。大使の皆さまには、今後とも白鷹町の応援団としてのご支援をお願いします。

■問い合わせ 産業振興課 観光交流係（☎85-6126）

国産ホップの90%をつくる東北の市町が交流 第3回ホップサミット in 白鷹



10月19日、スキーセンターで、ホップサミットが開かれました。産地として本町をはじめ、秋田県遠野市、秋田県横手市と大館市、福島県喜多方市の関係者がホップによる産業振興、地域づくりについて意見を交換。遠野市からは若芽料理への取り組み、横手市からはホップの二番花によるお茶の開発、資生堂からは新商品「ホップ香水」も発表されました。最後に、ホップを使った多彩な料理を試食し、交流を深めました。

長井線は笑顔満開 フラワー長井線まつり



10月22日、荒砥、長井、宮内の3駅で、フラワー長井線まつりが開催されました。日ごろの利用への感謝と長井線にさらに関心を持っていただこうと企画されたもので、多彩なイベントが行われました。荒砥駅では、ミニSLやモーターカーの乗車体験、よさこいソーランの演舞、荒砥鉄橋研究所のパネル展、各種団体の出店などが行われました。フラワー長井線に乗って帰っていく子どもたちはみんな笑顔でした。

みんなで楽しく思い出も収穫 ぽかぽか農園いも掘り体験



10月16日、山口地区のぽかぽか農園で、こぐわ・あゆかい保育園、陽光学園、こぶしの家の皆さんがサツマイモ掘りを行いました。この農園は、地元だいこんの会が中心となり共同でつくっている畑で、園児や施設利用者の皆さんとの交流の機会ともなっています。園児たちは小さな手で大きないもを掘り当てていました。帰るころには、収穫したサツマイモの入った袋を引きずりながら歩くかわいらしい姿が見られました。

人に優しく、命を大切に 福祉コンサート「かがやけいのち」



10月3日、鮎貝小学校で、福祉コンサートが行われました。福祉教育に取り組む鮎貝小学校が心の育成を図ることを目的に、命や福祉の大切さを歌で伝える活動をしている須貝智郎さんとAKEMIさんを招いて行ったもの。須貝さんは「人はたくさんの命（食べ物）をいただいて生きています。」と話す、児童たちはうなずきながら真剣に聞いていました。楽しい中に、心の温まる雰囲気でのコンサートでした。

荒砥小学校でモンテディオ 選手と児童が交流

10月31日、サッカーJ2・

モンテディオ山形の選手4人が荒砥小学校を訪れ、4年生44人と交流しました。子どもたちは教室に現れた選手たちに大感激。最初はあこがれの選手たちに緊張していた様子でしたが、フリートークでは打ち解け、顔と顔を突き合わせて選手に質問攻め。

渡部選手は「好きなことをがんばって続けることが夢につながる。」、太田選手は「学校もチームも、仲間が一番大切だよ。」と話し、子どもたちと夢を語り合いました。





心と心をつなぐ芸術の祭典 第36回白鷹町芸術祭

10月28日、29日、中央公民館を主会場に、36回となる白鷹町芸術祭が開催されました。町芸術文化協会所属の28団体が参加し、一般参加の書道や絵画、和紙ちぎり絵、写真なども展示。28日は荒砥小、東根小、西中、荒砥高校の合唱・吹奏楽の発表があり、息の合ったハーモニーで会場をわかせました。子どもたちから、その技に長年取り組まれてきたかたがたまで、日ごろの活動の成果を訪れた皆さんにアピールしました。



早期着工を願って 新荒砥橋建設促進期成同盟会総会

10月16日、中央公民館で、新荒砥橋建設期成同盟会総会・建設促進大会が開かれました。これは、懸案となっている荒砥橋の架け替えを早期に実現しようと毎年行われているもので、関係者など約130人が参加。来賓のかたがたは「置賜地区の主要路線として早期着工を要望していくことが大切。」などとあいさつされ、最後に大会決議を採択しました。大会では、荒砥高校生による荒砥鉄橋の研究発表も行われました。



地域住民としてがんばってます 外国人花嫁と地元女性の交流会

10月26日、土里夢館で、有限会社どりいむ農園の主催により、本町に嫁いでこられた外国人花嫁の皆さんとどりいむ農園女性部との交流会が開かれました。これは、同社の地域づくり事業の一環で、町内に住む国際結婚の13家族が招待され、女性部の皆さんは地元の食材を使った手づくりの料理と歌や踊りでもてなしました。外国人花嫁さんたちは母国語であいさつやことばを教えるなど、和やかに会話が続きしました。



おばあちゃんにチャンピオンベルトを 日本フェザー級王者・梅津宏治さん

10月28日、プロボクシング選手の梅津宏治さんが来町されました。父が荒砥出身の梅津さんは、同14日に日本フェザー級王者になったばかり。白光園に入所する祖母・梅津せつさんに一目チャンピオンベルトを見せたいと、千葉県からお越しになりました。世界チャンピオンは目指すかとの問いに「もちろんです。それまでおばあちゃんもまだまだ元気でもらいたい。」と話していました。



このたび、いきいき深山郷のどか村に親水広場が完成しました。これは住民のコミュニティ活動を推進するため、自治宝くじの収益金から助成される「一般コミュニティ助成事業」によって整備されたものです。広場にはメダカ池、トンボ池、ヤマメ池が整備されました。今後、魚のつかみ取りなど、のどか村で行われる地域に根ざした交流活動に幅広く活用される予定です。

平成18年度
一般コミュニティ助成事業
のどか村敷地内に「親水
広場」を整備

おめでとうございませす(表彰・大会結果)

五十嵐誠一さん(荒砥乙)が
地方行政功労者表彰受賞

五十嵐さんは、永年にわたり教育行政に特段の関心を寄せ、平成5年から町教育委員として力を注がれてきました。特に、平成13年から平成18年までの5年間、白鷹町教育委員会委員長として努められ、学校・家庭・地域の連携への取り組みや学校統合問題の解決など、町学校教育の質の向上、環境整備等に尽力されました。

その功績により、このたびの受賞となりました。



遠藤美沙子さん(荒砥乙)が
交通安全功労者表彰受賞

遠藤さんは、永年にわたり交通安全に特段の関心を寄せ、各種活動に力を注がれ、特に、平成9年度から白鷹町交通安全全母の会長として、地域や町全体の交通安全啓蒙と母の会の組織づくりに寄与されました。

その功績により、このたびの受賞となりました。



白鷹町ホンダ会が交通安全
功労団体表彰受賞



今利一郎さん(深山)が
「森の名手・名人100人」に
認定されました



これは、国土緑化推進機構が主催する「もりのくに・につぼん運動」の一環で、森にかかわる生業や地域生活に密着した営みの中で、優れた技術を極め、他の模範となつていくかたを認定するものです。今さんは、約30年前に代々伝えられてきた深山和紙づく

白鷹町ホンダ会(会長 伊東優さん)は、昭和56年に交通安全、交通事故防止、安全運転活動を目的に結成され、特に、昭和59年からこれまでの永きにわたり、町内全域の道路反射鏡の清掃、修繕及び角度調整等を行い、道路交通安全確保に尽力されています。その功績により、このたびの受賞となりました。

りを始め、現在に至るまで伝統的な製法で和紙漉きを行われてきました。昭和53年には伝統的工芸技術が広く認められ、山形県の無形文化財に指定されています。原料となる楮栽培やニレの刈り取り、天然の水を使用するなど、森との深いかわりの中で和紙漉き技術を守ってこられました。その功績により、このたびの認定となりました。

白鷹ミニバスケットボール
スポーツ少年団(男子)が県
外の大会で優勝

9月23日、新潟県三条市で行われた「第5回三条風南交流大会・RANANANCU」において、優勝しました。

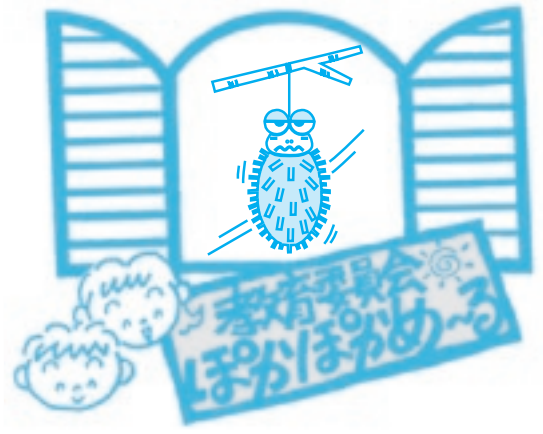
この大会は、主に新潟県内のチームが交流を目的に行われている大会で、毎回強豪が競い合います。今回は8チームが参加し、決勝では宮内ドリムス・J(長岡市)を55対25で破りました。この大会では最優秀選手賞に五十嵐央人くん、得点王に村上駿くんが選ばれました。この大会は、女子チームも参加しました。

白鷹町誕生52周年記念
地区対抗駅伝競走大会
荒砥Aチームが6連覇

10月9日開催

- 第1位 荒砥A 2時間32分26秒
- 第2位 十王 2時間33分38秒
- 第3位 鮎貝 2時間34分36秒
- 第4位 鷹山 2時間35分42秒
- 第5位 蚕桑 2時間36分23秒
- 第6位 東根 2時間41分24秒
- 第7位 荒砥B 2時間56分11秒
- ☆区間新記録
- 第4区 押切啓介(十王) 4分04秒
- 第10区 鈴木友幸(十王) 18分14秒





白鷹学講座 パート8

「影絵劇場〜星の王子さま〜」

この冬、白鷹町で影絵劇場「星の王子さま」を開催します。等身大の影絵は大人の方にもぜひ一緒にご覧いただきたい作品です。ご家族おそろいでご覧ください。

おはなし
サハラ砂漠に不時着した飛行士の前に、小さな王子さまが現れます。王子さまは自分の星を出ていろいろな星を巡り、最後に地球にやってきたのでした。その地球で王子さまはキツネと友だちになります。キツネに「星に残してきた花は、この世に一つしかないかけがえない花だ。」と教えられた王子さまは、その花のために帰る決心をします。

● 期日 12月17日(日)

午後1時〜2時20分
(昼12時30分開場)

● 会場 中央公民館大ホール

● 出演 劇団かかし座

● 定員 500人

● チケット(前売券)

①ファミリー券(大人1人、子1人) 2500円

②きょうだい券(①購入者のみ、子1人) 800円

③子ども券(18才まで) 1200円

④大人券 1800円

⑤ペア券(大人2人) 3200円

● チケット取り扱い

● 白鷹町教育委員会(午前8時30分〜午後5時 土日祝日除く)

● 中央公民館(午前8時30分〜午後10時 土日祝日可)

● 各地区公民館(午前9時〜午後5時 日曜・祝日除く)

■ 申込・問い合わせ 教育委員会 生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

● 主催

白鷹学講座企画委員会

親と子で人形劇をみる会

白鷹町教育委員会

荒砥高校開放講座

第4弾「タガログ語を話してみよう」

荒砥高校のALT(英語指導助手)のルビー先生(フィリピン出身)の母国語を学びましょう。

▼いつ 12月8日(金) 午後7時〜9時

▼対象 小学生以上

▼受講料 無料

▼持ち物 筆記用具

第5弾「料理教室 手軽にフレンチ」

肉と魚のメインデッシュをそろえた本格フレンチをつくり試食します。

▼いつ 12月15日(金) 午後6時30分〜9時

▼対象 18歳以上

▼定員 30人

▼受講料 1500円(材料代として)

▼持ち物 エプロン、筆記用具

☆どちらも

▼会場 荒砥高校

*当日は職員玄関からお入りください。

▼締め切り 11月30日(木)

■ 申込・問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

「町報川柳」 駅

新野三拍子 選

佳作	黄金の稲穂の中の無人駅	山口	児玉 保子
〃	降りる人なかつた雨の無人駅	横須賀	大滝健次郎
〃	地場産が胡座かいてる道の駅	荒砥乙	土谷 灯一
〃	人生は各駅停車 面白い	折居	海老名きち
〃	旅が好き駅弁が好き味くらべ	高玉	高橋 朝子
〃	道の駅あふれるばかり山の幸	細野	安達 昭吾
〃	出稼ぎを送って無口北の駅	十王	守谷 三郎
〃	思い出もロマンもあつた無人駅	浅立	高橋 とみ
〃	遠い日の待合駅のお下げ髪	荒砥甲	船山 英三
〃	春日八郎が見送っている終列車	世田谷	遠藤 八重
〃	無人駅 空きカンに花活けてあり	鮎貝	五十公野忍
〃	星空は変わらぬ里の無人駅	横須賀	勝見満里子
秀逸	この駅に私もあつた青春記	荒砥甲	井澤美佐子
〃	喜びも悲しみも見た田舎駅	浅立	小形 義三
〃	軍国の母が送ってからの駅	十王	鈴木 しげ
〃	鉄橋を渡ると駅に母が待つ	滝野	海老名達夫
〃	上野駅故郷の訛りも連れて消え	鮎貝	赤間 道雄
〃	ふるさとの駅を夢見るホームレス	小田原	井上 秀雄
〃	荒砥駅降りて眺める鮎の里	荒砥乙	大滝 栄子
〃	SLの汽笛も泣いていた別れ	鮎貝	土屋 文香
〃	青春の駅へ続いているレール	十王	志鎌はるゑ
〃	無人駅笑える風に泣く風に	畔藤	堀内 芳夫
五客	日の丸を振った別れの駅でした	高玉	片山 時美
〃	夢抱いた金の卵を乗せた駅	十王	川部 隆雄
〃	人情のふれあいに混む道の駅	鮎貝	横沢 直太
〃	初恋も未来も駅にありました	荒砥甲	横山 陽子
〃	上野駅 北の訛りが温かい	高岡	長岡みち子
人位	パンザイで湧いた日もある無人駅	畔藤	川井 千代
地位	発車ベル手を振る母が小さくなる	浅立	梅津たつゑ
天位	人生の喜怒哀楽を知る駅舎	畔藤	小形 よね
軸	温かい人ばかり乗る田舎駅		三拍子
次回課題	「初」または「始」十一月末日まで		「北」十二月末日まで
はがきに三句	届先 白鷹町荒砥乙四九四	菊地	克二まで

みんなで元気に暮らしたい…

働き盛りの
健康づくり

心にゆとりのある元気な暮らし

心にゆとりをもって暮らすためには、自分の時間を持つことが大切です。それはたとえば、仕事と趣味を両立していたり、夫婦で一緒の時間を過ごしたりして楽しんでいる暮らしです。



今月の？数字

12.9% → 25.0%

- 12.9% = H15年に実施した元気ニコニコしらたか21アンケートで、企業で働く人の「心の健康講座」を受けたことのある割合です。
- 25.0% = H22年には25%以上を目指しています。健康教室に参加する人とならない人では参加する人が心身が健康で充実した生活を送っています。

ニコニコ掲示板

11月19日（日）に「元気ニコニコ健康まつり」が行われます。子どもから高齢者まで楽しめる健康づくりのイベントです。皆さん、ぜひ健康福祉センターにお越しください。

■問い合わせ
健康福祉課健康推進係
(☎86-0210)

STRESS予防法

- S = スポーツ・運動 (勝負にこだわらない物) E = イーティング・食事 (複数で楽しく)
 T = トラベル・旅行 (気ままにいけるもの) S = スイング・唄う・カラオケ (大きな声)
 R = レクリエーション・遊び (夢中に) S = 適量の酒・睡眠・スマイル

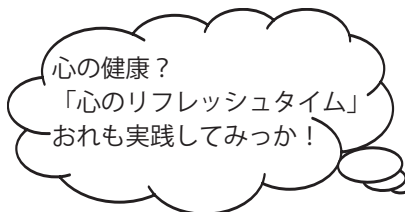
こころ！元気ですか？

近年、自殺で命を失う方が増えています。全国の自殺者数は、平成10年から増え始め、8年連続して、1年間の自殺者が3万人を超える状況となっています。

山形県では、平成17年の自殺者数は概数で年間376人であり、自殺死亡率は全国第4位となっています。特に、30～50代の働き盛り男性の自殺率が高く、職場や家庭における心の健康づくり対策が求められています。

このような状況の中、白鷹町では、商工会と健康福祉課、元気ニコニコ推進会議、置賜保健所がタイアップして、メンタルヘルスに関する講演会を開催しました。この催しは、例年開催している「白鷹町建設業労働災害防止大会」に併せて、7月3日に開催したもので、商工会や企業と協働した、先駆的な取り組みとなっています。当日は、約180人の参加があり「心のリフレッシュタイム」というテーマで、ヒューマン・メンタルヘルス研究所・所長の我妻淳一先生からユーモアたっぷりのご講演をいただきました。

働き盛り世代は、家庭や仕事・地域での付き合い等々でストレスがたまりやすいものです。あなたは「ストレス予防法」をいくつお持ちですか？



“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）



クマ出没？

～杉葉を拾いに行った道で～
♪ある日ー森の中ークマさんにー♪
A男「歌、ストップ！クマが来るとい
けない」
B子「いいべした。赤ちゃんグマが来
るかもしれないよ」
A男「ダメ。僕たちの畑のポップコー
ン、全部クマ(?)食ったしたー」
B子「ほだね、歌わねは。クマも畑で
食べ物つくればいいのにねー。」

未来のパートナー

A子「わたしの結婚相手は、運動神経
が良くて、お金持ちで、優しい人
がいいなー」
B男「僕は、スタイルが良くて、絵が
上手で、金持ち」
C男「僕は、頭が良くて、お金はない
けど、明るくておもしろい人がい
いな！」
ーすてきな人見つけてねー

白鷹町病院事業の普通財産となっている 住宅及び住宅用土地の公売せり売りをを行います

●せり売り競争入札に付する事項

- ①入札に付する物品及び数量
- ▼建物
- ・白鷹町大字荒砥甲373番
14に建っている住宅 1棟
- ・木造一部2階建120.49㎡
- ・ほか同宅地に建っている小
屋及び車庫
- ▼土地 白鷹町大字荒砥甲3
73番14 宅地507.99㎡
- ②物品の特質
- ▼建物
- ・昭和58年建築 白鷹町病院
事業医師住宅として使用
成18年に北側屋根修理
- ・平成14年ころより空家 平
成18年に北側屋根修理
- ・現状渡し(水道、下水道に
加入しているが、配管など
の状況は不明)
- ▼土地 地形等は現地確認の
こと。

●入札参加者に必要な資格

- ①地方自治法施行令(昭和22
年政令第16号。以下「政令」
という)第167条の4第1
項の規定により入札に参加す

ることができないとされた者
(破産者で復権を得ない者等)
でないこと。

- ②入札参加申込書を指定した
期日までに提出した者である
こと。

●入札説明書について

- ①入札説明書の交付期間
11月13日(月)～16日(木)
午前9時～午後5時
- ②交付場所
白鷹町病院事業事務局(〒9
92-0831 白鷹町大字
荒砥甲501/☎85-215
5)

●入札手続等

- ①入札参加申込書受付期間
11月13日(月)～16日(木)
午前9時～午後5時
 - ②入札・開札の日時
11月22日(水) 午前10時
- ※なお、入札手続等の詳しい
内容は入札説明書をご覧ください。

■問い合わせ 白鷹町病院事
業事務局(☎85-2155)



介護ワンポイントアドバイス
地域包括支援センター TEL86-0112

●認知症の症状の現れ方

認知症のお年寄りは、他人
には対面を保つてきちんとして
応じますが、より身近な家族
に対して症状が出やすい傾向
があります。特に、毎日介護
している人に対して症状が強
く出るために、他人にはきち
んとしているのに、わたしに
はわざとしているのではない
か、とつらい思いをします。
しかし、これはむしろ自分た
ちが家族であるという認識を
本人が持つていて、心では家
族を信頼している証拠なので
す。

介護者の周りの人は「わた
しにはこんなにきちんとして
できるんだから、認知症では
ないだろう。介護者のかたが
おおげさに言っているだけで
はないか」と介護者を非難す
るのは間違いです。周りの人

●まだら症状

や家族からの理解と思いやり
がどれだけ得られるかが、介
護者の疲労度に大きく影響し
ます。介護者の日々の介護に
対し、ねぎらいの言葉をかけ
たり支援することが、介護者
の精神的な支援につながりま
す。

認知症の人は、認知症が始
まると常に異常な行動ばかり
するわけではありません。正
常な部分と認知症として理解
すべき部分とが混じり合っ
て存在しているというのが「ま
だら症状」です。
非常にしつかりした面もあ
りますから、周囲は認知症で
あるとはなかなかとらえるこ
とができません。
お年寄りが、常識的な人な
ら行わないような言動をして
周囲が混乱するような場合、
その原因になった言動は「認
知症の症状である」と割り切
ることがポイントです。

INFORMATION

情報

あらかると

役場は ☎85-2111



平成18年度元気ニコニコ健康まつり

お誘いあわせのうえ、おいでください。

▼日時 11月19日(日)
午前9時30分(開会行事)～午後4時

▼場所 健康福祉センター

▼内容(時間)

- ①げんき子ども大集合「親子ふれあい3B体操」(午前10時～)

時～昼12時)

②「痛いのがつらいのとなでけ教室」～肩こり・腰痛・膝痛予防解消体操(午後1時30分～3時30分)

③げんき弁当コンクール

④食の暦より、かいもちの試食

⑤体力測定、骨密度測定

⑥健康づくり推進員売店

⑦福祉施設売店

*③～⑦は午前10時～午後3時

⑧元気ニコニコ推進会議

*史跡めぐりウォーキング(午前10時～昼12時)

*心の健康相談、禁煙、アルコール(午前10時～午後3時)

※詳細は各地区公民館、病院、健康福祉課にあるポスター、チラシをご覧ください。

第10回ハーモニーコンサート

▼いつ 12月10日(日)午後2時30分

▼どこで ハーモニープラザホール(鮎貝地区公民館)

▼演奏者 山形交響楽団(指揮 佐藤寿一)

▼曲名

- ①ディベルティメント138
- ②おもちゃの交響曲
- ③交響曲第1番

④ディベルティメント136

⑤交響曲第27番

▼チケット

- ・大人2000円
- ・高校生以下1000円

*未就学児の入場はご遠慮ください。

▼チケット取り扱い 鮎貝地区公民館、ヤマシチ商店、町立図書館、各実行委員

※おもちゃの交響曲に出演してみたいかたを5人募集します。

■問い合わせ ハーモニーコンサート実行委員・御代田(☎85-3523) または鮎貝地区公民館(☎85-2342)

豊かな自然・ブナの森づくり活動

▼いつ 11月14日(火)

①一般植樹 午後1時30分

②児童植樹 午後3時

▼どこで 旧一の坂スキー場(横田尻地内)

▼参加者 地元団体、ボランティア団体、小学生、一般参加者

*一般で参加希望のかたは直接会場にお越しください。

■問い合わせ 産業振興課みどりの郷推進係(☎85-6125)

置賜協働のまちづくりシンポジウム

▼いつ 11月26日(日)午後1時30分～5時

▼どこで JA山形おきたま本店(川西町)

▼内容

①置賜協働のまちづくり研究会の報告・共同宣言

②基調講演

・演題「観光による地域活性化をめざして」

・講師 渋川恵男さん(会津若松商工会議所副会頭)

③パネルディスカッション

○テーマ「多様な主体の協働による置賜づくり」

○コーディネーター 宮原博通さん(置賜協働のまちづくり研究会会長)

○パネラー 青木孝弘さん(長井まちづくりNPOセンター事務局長)

・清野雅好さん(米沢市社会福祉協議会地域サービス課主任)

・高橋由和さん(川西町吉島地区社会教育振興会事務局長)

・原田俊二さん(川西町長)

締め切り 11月17日(金)

■申込・問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課(☎0238-26-6021)

シンポジウム

「公共政策の進化を探る」

特に注目されているプライベート・ファイナンス・インシアティブ(PFI)及びパブリック・プライベート・パートナーシップ(PPP)の最新の動向に着目しながら、今後の行政・公共経営の新たな方向性について考えます。

▼いつ 11月22日(水)午後2時～4時30分

▼どこで 山形市保健センター大会議室

▼テーマ「行政・公共経営体の新たな潮流」PFI・PPPの最新動向をめぐって

▼内容

①基調講演 井出信夫さん(新潟産業大学大学院教授)

②セッション

・井出信夫さん

・太下義之さん(三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員)

・中山高樹さん(浦安市経営企画部次長)

▼募集人員 150人

▼参加費 無料

▼締め切り 11月20日(月)
 ■申込・問い合わせ 公共政策シンポジウム実行委員会事務局(東北公益文科大学大学院事務室/☎0235-2910555 Eメール gs@kocti-u.ac.jp)

改正男女雇用機会均等法説明会

改正法に沿った雇用管理が各企業で実現されることを目的として、法の内容等についての説明会を行います。

【山形会場】

・いつ 11月28日(火)
 午後2時～4時30分

・どこで 山形ビックウイング

【米沢会場】

・いつ 12月5日(火)
 午後1時30分～4時

・どこで 米沢市すこやかセンター

▼内容

・改正男女雇用機会均等法について(山形労働局雇用均等室)

・その他説明、個別相談

・一般事業主行動計画の策定・認定制度について

・育児・介護休業規定の規定方法(米沢会場のみ)

・その他

▼対象者 事業主、人事労務担当者等
 ■申込・問い合わせ 山形労働局雇用均等室(☎023162418228)



第29回町民卓球大会 出場者募集

▼いつ 12月3日(日) 午前9時～

▼どこで 中央公民館大ホール

▼種目

①団体戦

②シングルス(男子、女子、中学男子・女子、小学男子・女子、ラージボール男子・女子)

③ダブルス(男子、女子、混合、夫婦、親子)

▼参加料 シングルス 1人200円

・ダブルス 1組400円

*団体戦・小学生は無料

▼締め切り 11月21日(火)

■申込・問い合わせ 町民税務課・衣袋(☎85-6132)

平成18年度家庭教育支援総合推進事業「手づくり布絵本講座」参加者募集

子どもがよろこぶ布絵本を針と糸を使ってちくちく手づくりしてみませんか。日ごろの子育てに関する悩みなど、おしゃべりしながら行いますので、ぜひご参加ください。

▼いつ

第1回 12月2日(土)
 午後1時30分～3時30分

第2回 12月9日(土)
 午後1時30分～3時30分

*2回で1つの作品を作成します。

▼どこで 中央公民館2階第1・2研修室

▼対象 町内にお住まいの小さい子を持つ親

▼定員 20人(申込先着順)

▼参加費 1000円(材料代)

▼持ち物 ソーイングセット

▼締め切り 11月17日(金)

■申込・問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)

▼講習期間 12月11日(月)

▼申し込み 申し込みます

隠れ蕎麦屋の里しらたか 今年も新そばがおいしくできました

新そばの季節到来です。それに先がけ二つの地域からそばまつりの便りが届きました。白鷹の隠れそば職人たちが打つそばを堪能してください。



のどか村そばまつり

開業5周年を迎え、皆さまのご愛顧に感謝し開催します。ぜひおいでください。

- いつ 11月18日(土)～19日(日)
午前11時～午後3時
- どこで いきいき深山郷のどか村
- 料金 新そば食べ放題(1200円)
- 問い合わせ
いきいき深山郷のどか村(☎85-0380)

滝野そばまつり

旧校舎の趣あるたたずまいに浸りながら、地元のそば打ち名人のそばをご賞味ください。

- いつ 11月19日(日)
午前11時～午後3時
- どこで 滝野交流館(旧滝野小学校)
- 料金 1皿500円
- *地物の野菜なども販売します
- 問い合わせ 産業振興課/斎藤(☎85-6126)

15日(金) 5日間

▼会場 シルバー人材センタ

ー(荒砥)

▼内容 襖・障子張り替え方法など

▼募集人数 20人

*応募多数の場合は抽選となります。

▼応募資格 57歳〜65歳の人

▼申込方法 官製はがきに住所、氏名、生年月日、年齢、電話番号を書いて申し込んでください。

▼締め切り 12月1日(金)

▼申込・問い合わせ 長井・西置賜地域シルバー人材センター(〒993-0003

長井市東町2-12/☎84-4535)

「置賜協働のまちづくり共同宣言」の賛同団体を募集します

コミュニケーションと行政が、より良い関係を結び、手を携えて課題の解決に向かうため「置賜地域のコミュニケーションと行政の協働のルール」を共有し、協働して置賜地域をつくらせていこうという思いを表明する『置賜協働のまちづくり共同宣言』を行います。11月26日(日)に行うこの宣言の趣旨にご賛同いただける団体を募集します。

趣旨にご賛同いただける団体を募集します。

▼賛同団体受付期間 11月17日(金)まで(以後随時受付)

*受付方法など、詳しくはお問い合わせください。

▼申込・問い合わせ 置賜総合支庁企画振興課(☎0238-26-6018)



平成18年度浄化槽設置補助の受付を締め切ります

今年度の浄化槽設置予定基数が残りわずかとなりました。県への報告が12月下旬となっているため、今年度分の最終締め切りとさせていただきます。

▼締め切り 12月8日(金)

▼条件 平成19年3月31日までに設置完了できるかた

▼残基数

・5人槽 5基

・7人槽 1基

▼申込・問い合わせ 建設水道課下水道係(☎85-6138)

「四季の郷」宣伝往復ハガキをご利用ください

白鷹町鮎貝土地区画整理組合では「四季の郷」分譲地の宣伝広告ハガキを作成しました。同窓会や同級会などの案内ハガキとしてぜひご利用いただき、白鷹町や「四季の郷」を広くご紹介ください。

▼形式 往復ハガキ1枚分

*宛先面に宣伝広告を掲載。

*「鮎貝八幡宮祭り」と「薬師桜」の2種類があります。

▼価格 半額を土地区画整理組合が助成し、1枚50円で販売します。

*枚数に制限がありますので、お早めにお求めください。

▼申込・問い合わせ 白鷹町鮎貝土地区画整理組合(☎85-13119)

荒砥駅前交流施設資料館を模様替えしました

▼テーマ 「蕎麦とあかり展」

▼期間 11月〜1月末まで

▼同時開催 「鈴木俊美と貞子の二人展」

小規模企業共済制度のご案内

この制度は、個人事業主または会社等の役員のかたが事業をやめられたり退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておく国の共済制度です。

この制度の特徴は、掛金は全額所得控除。受け取る共済金も退職所得扱い、または公的年金等の雑所得扱いとなります。

経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済制度)のご案内

取引先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面してしまつたときに資金を借入れることができる制度で、中小企業を守るための国の共済制度。

無担保・無保証人で、積み立て掛金の10倍の範囲内(最高3200万円)で被害額相当の共済金が借り入れ可能。

毎月の掛金も税法上、必要経費または損金に算入できます。

▼「小規模企業共済制度」と「経営セーフティ共済」の詳細い内容のお問い合わせと加入申し込みは、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の本支店の窓口で取扱いしています。制度の運営は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が行っています。(http://www.smrj.go.jp/kyosai)

調理師業務従事者届のお知らせ

調理師法では、飲食店等において、調理の業務に従事する調理師は2年ごとに就業地の都道府県知事に「調理師業務従事者届」を提出することとなっております。

▼届出の必要な調理師 学校、病院、事業所、社会福祉施設、飲食店などで調理の業務に従事しているかた

▼届出方法 各保健所等に備え付けの届出用紙に、平成18年12月31日現在の状況を記入し、平成19年1月16日(月)まで最寄りの保健所生活衛生課、または県保健薬務課に届けてください。

▼問い合わせ 最寄りの保健所、または県保健薬務課(☎023-630-2329)

山形県飲酒運転追放キャンペーン

実施中!

飲酒運転による重大事故が相次ぎ、社会問題化するなか、県内においても連日のように飲酒運転が報じられています。飲酒運転は極めて、危険な行為であり、飲酒の機会が多くなる時期を迎えるにあたり「飲酒運転追放キャンペーン」を実施し、飲酒運転の徹底追放を目指します。

キャンペーン期間

11月1日(水)～12月31日(日)

スローガン

「飲酒運転 しない!させなし!許さない!」

【重点】

飲酒運転^しない運動の徹底推進

- 1 運転するときは酒を飲まない
- 2 酒を飲んだら運転しない
- 3 運転する人に酒を飲ませない
- 4 酒飲み運転は見逃さない

飲酒運転は“犯罪”です。飲酒運転は、危険な行為であるばかりでなく、事故の相手とその家族、自分や自分の家族にも悲惨な結果をもたらします。職場ぐるみ、地域ぐるみで「飲酒運転4ない運動」を実践し、悲惨な事故をなくしましょう。



油流出事故にご注意を!

最近、油流出事故が多発しています

冬は暖房機器を使う機会が増え、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出すケースが見受けられます。その多くが人為的ミスによるもので、油がいったん流れ出すと水や土の汚染といった環境悪化をもたらすばかりでなく、オイルフェンスでの囲い込み、吸着マットでの吸い取り、新しい土の入れ替えなど、大掛かりな対応と多くの費用がかかり、事故をおこした原因者が責任を持って負担しなければならなくなります。

●主な発生原因

- ① 給油時の不注意による流出
- ・ 給油中にその場を離れる
- ・ ホームタンクの元栓の閉め忘れ
- ② 落雪による配管の破損
- ③ 除雪作業による配管の破損

●防止策

- ① 給油時はその場を離れない。
- ② 落雪による配管破損の防止対策を行うほか、定期点検に努める。
- ③ 除雪作業による配管の破損に注意する。

事故を起こした場合、または発見した場合は、国や県の機関、役場、消防署、警察署などへご連絡ください。

■問い合わせ

- 最上川水系水質汚濁
対策連絡協議会 (☎
023-688-818
421)
建設水道課 鮎貝まち
づくり・都市計画推
進係 (☎85-614
2)



戸籍の窓

●10月1日▶10月31日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(佐藤 洋平)	南陽市
(古名 めぐみ)	横田尻
(渋谷 祐介)	畔藤
(鈴木 典子)	長井市
(澁谷 利和)	広野
(奥山 里美)	下山

こんにちは赤ちゃん

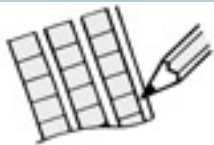
住所	父母の名	子の名
十王	松野 嘉愛	大嘉唯
高岡	村上 聡恵	芽みゆ
佐野原	竹田 健順	実美
箕和田	小口 孝真	愁
荒砥甲	佐藤 哲真	晃晴

おくやみ

住所	氏名	年齢
荒砥乙	菅原 まさ	89
中山	布施 治	84
鮎貝	佐竹 三郎	80
荒砥甲	金子 佳子	79
十王	荒川 せい	92
荒砥乙	安達 寅吉	80
萩野	小菅 よし	83
山口	菅 兵一	57
鮎貝	赤間 はつ	80
荒砥甲	菅原 登	84
高岡	岡大 徳次	86
浅立	立口 貞四郎	95
山畔	藤野 影	84
十萩	野竹 正義	88
荒砥甲	高橋 正金	75

▼最近、子どもたちが自ら命を絶つという報道を毎日のように耳にします。「命を大切に」「強く生きよう」と何百回と教えられても、本当にわかるのは、そのときだけ。どんな不安を抱えているか見えなくても、わたしたち周りの大人が「君が大切だよ」と言っておけることで、子どもたちの心は随分と救われるのかもしれない。

▼年賀状の発売をニュースで聞き、冬の足音を感じました。この冬が、昨シーズンのような豪雪にならないよう祈りつつ、空を見上げました。(うめこ)



SELF JUDGE

編集後記

橋本光記

かもしれないが、南極大陸は世界のどの国にも属さない、どの国の領土でもない地帯である。地球規模から見れば、南極大陸そのものがかけがえのない各国共通の地球最大の世界遺産と言えるのではなからうか。

そしていつの日か、コップにある数十万年前の氷のかけらに胸をときめかせながら、オン・ザ・ロックが飲める日を迎えたものである。

役場の町長室にかなり大きい地球儀がある。ときおり、地球儀を回転させながら、他国の大きさ・位置、都市の位置を確認する場合もある。日本はまさに小さな島国であり、いかにも世界は広い。また、部屋に5億から10億年前のものと推測される南極の石が飾られている。その石は白鷹町横田尻出身の佐藤元保氏からの寄贈品である。氏は、1981年(昭和55年)から1983年3月まで、第22次南極観測隊として南極で越冬されたかたである。氏とは若い自分によく存じており、しばらくぶりにお話しする機会があった。

南極は大陸。日本の33倍の広さだ。そして大気は限りなく極の中心に流れる。南極には世界中の大気が集まってくる。何が大気中に排出されているのか、南極点では明らかにわかる。南極は世界で最も寒い極寒地帯。雪となつて降ってきて、その重みによつて圧縮され、氷となり、堆積していく。何百万年もの水の堆積層となる。古い時代に降ったものほど下にある。氷の厚さは平均で約2400㍎。一番厚いところは約4800㍎もある。大陸のほとんどすべてがこのような氷で覆われている。しかし、氷は水あめのようにほんの少しずつ動いている。中央か

町長随想 ⑥2 『かけがえのない地球』

ら氷河として数十万年かけて、移動し海岸に移動する。そして、海のうえに押し出された氷が、時代を経てちぎれて冰山となる。冰山は何十万年も前の空気(大気)をそのままに封じ込めている。今、この氷を水に入れると、プチプチと音を立て空気の粒が浮かぶ。何十万年も前の空気だ。

昭和基地ではこの氷でオン・ザ・ロックをつくつて飲める。」

気の遠くなりそうな「時代の累積」を経た想像が精一杯の事実である。もつともつとお話を聞きしつたが、時間の制約があり別れた。

今、日本の各地においては、世界遺産の登録に向けて精力的に活動中である。このことは大事である。そして、趣旨は違

分でわかる範囲で調べてみた。

- ①南極大陸の氷の体積は地球上の雪や氷の90%を占めること。
- ②南極が氷という形で莫大な氷をストックしているからこそ、地球の海面は均衡を保つてい
- ③南極大陸から海水の上にはせり出した氷の板があり、日本よりも面積が広く、これが完全崩壊すると世界の海面は5㍎上昇すること。その氷の板の下に入る海流が冷やされて海底に沿って循環し、地球全体の海水を適度に保っていること。
- ④南極点での二酸化炭素濃度計測の結果、ここ半世紀で20%近く増え、このままでいくと今世紀中に地球規模の温暖化が懸念されること。

広報しらたかは再生紙を使用しています。